



平成30年度 学校だより

緑 柏

長崎県立佐世保南高等学校

第155号 平成30年 4月27日発行
発行責任者 下釜 祐保

校長室の窓から

伝統と前進

校長 下釜 祐保



天気恵まれ、すがすがしい日が続いている。春爛漫。正面玄関前の「ツツジ」の彩りが美しい。野山は勢いに満ち、新緑はまぶしく、咲き誇る花も力強い。1年で最も華やいだ季節に心も弾む。百人に百の夢があり、千人に千の人生がある。各人がそれぞれの夢実現に熱くエネルギーを燃やす高校生活であることを願う。

南高の1日は、生徒会執行部の国旗・県旗・校旗掲揚で始まる。同時に、各部活動の生徒らが、正門近くで元気な挨拶運動や心のこもった清掃活動を行っている。その姿もまた誇らしげで、若々しい学園を醸し出す。まだ要領を得ないながらもワクワク・ドキドキの新入生たちを、この1日1日が“南高生”へと導いて行く。

70年前に開校した本校だが、この1日1日を紡いで今がある。この間、この地で青春の時を過ごした若人は3万人を超える。青春の汗、涙、夢、苦悩、友情、恋などの連鎖こそが本校の伝統である。3万人超の思いと70年の挑戦の事実が伝統なのである。

入学式では、全校生徒、とりわけ新入生に対し「若者らしい志をもって欲しい」と話した。高校に入学する15歳という時は、人生のひとつの岐路にもなりうる重要な年代、昔から志を立てる「立志の歳」とも言われる。自分の目で世の中を見、自我を創っていく時代である。自分自身の生き方を決めるのも、人としての幸福の受け止め方を決めるのも、高校時代というこの時期の経験、そしてこの時に芽生えた心に寄るのである。これを根として、人は一生を生きていく。若者の本質・本領である青雲の志を胸に、校歌にある「若人の理想は高し南高」の生き方を体現してもらいたい。

若者の特権の一つは、やり直しが利くことにある。社会は、若者にだけ試行錯誤を許してくれる。それは若者の夢と可能性を大切にしているからであろう。夢や志が目標となり、勇気を生み、力強い挑戦へと転ずる。

今年度は創立70周年記念の年。キャッチフレーズは「未来につなげ 僕らの南高魂」である。「南高魂」と書いて「こころ」と読む。この意味するところは、伝統の南高魂を未来につなぐことが、今の南高生の大きな使命と言っている。

これまでの3万超、70年の先輩方がそうであったように、屈託のない純粋な夢やみずみずしい感性で、勇気を奮い起こし、力強く挑戦する毎日であって欲しい。それが伝統ある学校の1日1日の営みである。

私たちは 今 先輩が切り拓いた道の上を歩いている

そのことに感謝し 新しい道を切り拓いていかなければならない

「南高魂」のいう伝統ある絆であり、伝統が求める前進である。





～新任者紹介～



○下釜 祐保 (校長 数学) 前任校 口加高校

年度初め特有の心地よい緊張感と同時に、伝統と実績輝く佐世保南高の校長としての重責を感じています。卒業生や、歴代校長先生をはじめとする諸先輩方の思いに迫りながら、これまで経験した全てをこの南高に捧げ、「校風ここに いや増さん」を目指します。どうぞ、よろしくお願いいたします。

○岩永 正弘 (事務室 事務長) 前任校 長崎県埋蔵文化財センター

開発事業に伴い必要となる遺跡の発掘調査や長崎県の地理的な特殊性を踏まえた考古学研究などを行う長崎県埋蔵文化財センターから参りました。佐世保市での勤務は約25年振りになります。伝統ある佐世保南高校の一員として、生徒のみなさんの進路実現を事務室からサポートしていきます。よろしくお願いいたします。

○山崎 照世 (国語) 前任校 長崎西高校

この度、長崎西高校から赴任してまいりました。こちらに来て拝見した、生徒の皆さんの美しい姿勢と元気な校歌に感動しています。学習と部活動の両立や進路実現に向けて精一杯支援していきますのでよろしくお願いいたします。

○宮原 更三 (保健体育) 前任校 長崎西高校

佐世保勤務は初めてで、実家のある長崎からの遠距離通勤となります。ある意味リセットする良い機会ともなりますので、新天地で自分のカラーを出しながら、佐世保南高校の力になっていければと思っています。どうぞ、よろしくお願いいたします。

○野口 敦子 (数学) 前任校 口加高校

今回の異動で口加高校から赴任してきました。歴史と伝統に裏打ちされた生徒の皆さんの所作や行動のすばらしさに身の引き締まる思いです。私も負けないよう、力を尽くしていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

○平山 和則 (保健体育) 前任校 清峰高校

この度、清峰高校から赴任いたしました。専門は陸上競技(短距離)で、陸上部の顧問を持たせていただきます。伝統ある佐世保南高校に勤めさせていただき、身の引き締まる思いです。生徒のみなさん・先生方・保護者の方々・地域の皆様と一体となって南高を盛り上げていけるように頑張ります。よろしくお願いいたします。

○小森 修一 (地歴公民) 前任校 平戸高校

平戸高校から参りました。ここが5校目になります。長崎市出身で、現在は松浦市在住です。このたび、歴史のある伝統校に赴任でき、大変光栄です。生徒・学校・地域のために貢献できるようにがんばります。よろしくお願いいたします。

○宇都 成紀 (保健体育) 前任校 大村工業高校

私は12年前に佐世保南高校を卒業しました。今年度より、母校で勤務できることに大変嬉しく思っております。部活動ではラグビー部の顧問をさせていただきます。オール南の一員として、全身全霊で頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○礎 洋一郎 (数学) 新規採用

新規採用として、赴任することになりました。出身は波佐見町です。伝統あるこのすばらしい南高で、多くのことを学び、生徒の皆さんとともに成長していけたらと思います。一生懸命頑張ります。よろしくお願いいたします。

○益田 雄司 (国語) 新規採用

この度、初めての赴任校として佐世保南高校へやってきました。出身は長崎市です。教員生活一年目で分からないことばかりですが、何事にも情熱を持って取り組み、生徒と共に自らも成長していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

○藤 結貴 (養護教諭) 前任校 上五島高校

上五島高校から来ました。赴任が決まり南高を訪れた時、保健室から見える色とりどりの満開の花木が大歓迎してくれているようで、とても嬉しい気持ちになりました。これから皆さんとの出会いを楽しみに、保健室からこころとからだの面でサポートをしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

○川原 真由美 (情報) 前任校 清峰高校

こんにちは。2年生4クラスの教科「情報」を担当します川原真由美です。南高生の明るい挨拶、元気な校歌にすがすがしく4月をスタートさせて頂きました。皆さんと情報を学べることを大変嬉しく思います。1年間宜しくお願いいたします。

○入学式

平成30年4月9日（月）、第73回入学式が行われました。真新しい制服姿の新入生が下釜校長に入学を許可されて、本校の73回生となりました。名前を呼ばれた生徒が力強く返事をし、また、大きな声で校歌を歌う姿には、本校の校訓である「自彊自律」・「和敬禮節」を胸に佐世保南高校で頑張ろうという強い意思が感じられました。



○新入生宿泊研修について

4月16日（月）から2泊3日の日程で、佐世保青少年の天地にて新入生宿泊研修が実施されました。教頭先生の講話を皮切りにはじまった研修では、2日目の昼食を昨年度から取り入れた野外（飯盒）炊きでクラスごとにカレーライスを作りました。普段の生活で火おこしや料理をすることはあまりない様子ですが、生徒達は班員と協力して、火をおこし、カレーを作っていました。そのカレーは美味しく、仲間との会話も弾んで、和気あいあいとした楽しい時間を過ごすことができました。毎日作ってもらえる食事の有り難さを口にする生徒もいました。

集団行動、クラス活動、校歌・応援歌練習、校歌コンクール、学習に真剣に取り組んだこの2泊3日は、生徒一人ひとりにとって高校生として、また南高生としてどうあるべきかを学ぶための貴重な体験となりました。諸々の準備のためにご協力いただきました保護者の皆様に、お礼を申し上げます。



○海外研修【3月24日（土）～ 3月31日（土）】

3月24日（土）～3月31日（土）まで、海外研修が行われました。今年度は、アメリカ合衆国カリフォルニア州テムキュラ市、マリエタ市、ロサンゼルス市を研修地として語学研修や市街地ツアー、姉妹校（ビスタ・マリエタ高校）との交流、キャンパスツアーなどを行いました。生徒は2人1組を基本とし、テムキュラ市の一般家庭にホームステイをし、生の英語に触れながらアメリカの文化や習慣を学びました。最初は上手く英語で意思疎通ができないこともあったようですが、徐々に英語にも慣れ、ホストファミリーとはショッピングや教会に行ったり、イースターを一緒に祝ったりなど、それぞれのホストファミリーと充実した時間を過ごしていました。最後のお別れの時には、多くの生徒が涙を流しながらホストファミリーとの別れを惜しんでいました。姉妹校であるビスタ・マリエタ高校との交流では、ダンスや書道、茶道などお互いの国の文化を紹介しあったり、日米それぞれの学校生活について話したりなどして、互いに親交を深め合っていました。ロサンゼルスツアーでは、世界有数の名門校であるUCLAに行き、大学生ガイドの方にキャンパスツアーをして頂きました。生徒達は日本の学校との規模の違いや大学のレベルの高さに驚きを隠せませんでした。この研修を通し生徒達は、英語力はもちろんのこと、コミュニケーション能力や多様な価値観など多くのものを得ることができました。今回の研修を通して身につけた力を今後の学校生活で存分に発揮してくれることと思います。



○1学年主任より（川副 華代子）

～「73回生始動」～

この広い世界の中で240名が南高で出会い、73回生としての高校生活が始まりました。縁あって出会った仲間ですから、それぞれの個性を生き生きと発揮できる集団、互いを認め合う仲間としてこれからの学校生活を過ごしてほしいと思います。また、これからは部活動も始まり、文武両道が求められます。校歌の「理想は高し南高」にある通り、理想を高く持ち、学業も部活動も一生懸命に取り組みましょう。

○2学年主任より（山西 善雄）

ちょうど1年前の宿泊研修で野外炊さんをしました。前日までの雨で水分を含んだ薪にはなかなか着火せず、苦労しました。しかしこれが、電気炊飯器が普及する前の日常だったはずです。

10kmの距離は、健康上の理由など、あえて歩こうとしなければ普段は歩きません。最近手紙もあまり書かなくなり、届かなくなりました。用件を伝えるだけならば手取り早い方法がほかにもあるからです。ただ、学業の営みそのものは、古来変わらない。時間がかかります。この、「時間がかかる」ということをうまく受け入れられなくなっている「私たち」がいます。教育機器には便利なものがたくさんありますが、自分を起動させるものは、今も昔も自分以外には存在しません。

いま、「私たち」と言いましたが、まずは「私」の問題です。君たちは、どうでしょうか？

○3学年主任より（松田 健佑）

「まじめに一生懸命」

いよいよ、最終学年の1年間がスタートしました。この1年間の最大の目標は71回生全員の進路決定です。そのためには子ども達にはこの1年間で大きく成長してもらう必要があります。学力、自己管理能力、計画性、将来への展望、これから一人前の社会人として社会に貢献できる人間になっていくために必要な力はまだまだ不十分です。しかし、この「受験」という進路決定におけるシステムは、これらの能力を大きく飛躍させてくれるようにできています。高総体以降は土日の休日もSプロや模試、平日の早朝や放課後には補習があり体力気力ともに疲弊していく日々です。思うように成績が伸びなかったり、志望校に悩むこともあるでしょう。目的意識や支えてくれる仲間なくしては決して乗り越えられない壁ですが、その壁の向こうに見える風景が、子ども達がこれから歩んでいく新しい世界です。そして「まじめに一生懸命」ひたむきに努力することが結果的に一番の近道になると思います。一步一步着実に力をつけ、これからの世界を力強く歩いていける。そんな自信に満ち溢れた大きな背中を1年後に校門から送り出したいと思います。

○進路指導部より「平成29年度入試結果について」

平成30年3月卒業生の合格状況（延べ人数）は、国公立大学114名（国立大学72名、公立大学42名）、私立大学177名、準大学3名、短期大学6名、専門学校46名、公務員1名、自衛隊1名でした。主な合格先としては、九州大学6名、長崎大学13名、佐賀大学13名、熊本大学7名、鹿児島大学9名、長崎県立大学19名、同志社大学2名、立命館大学3名、西南学院大学8名、福岡大学25名、海上保安大学校1名などです。

2年後に控えた新しい大学入試を見据え、思考力を問う問題も徐々に盛り込まれる中で、生徒の負担は大変重いものとなりましたが、センター試験後も先生方と生徒達がひたむきに受験に向き合っていました。その中で、昨年度の3年生に続き70回生も多くの生徒が前期のみならず中期・後期まで粘り強く受験に臨み、国公立大学への合格を手に入れました。また私立大学や高専などの専門学校への進学を志望していた生徒達も、特別編成授業や個別添削指導などに臨み、それぞれの進路先へ進んでいきました。今年度の入試結果を分析し、その成果や反省点を踏まえ、在校生の進路実現のサポートをしていきたいと思っています。

○5月行事予定

- 5月 7日（月）育友会総会振休
- 12日（土）育友会総会・学年育友会
- 17日（木）生徒総会
- 21日（月）～25日（金）高総体強化週間
- 28日（月）高総体振休



